

## 技術ノート KGTN 2011081101

### 現象

クライアントドライブ機能を利用してサーバ側からクライアント側へファイルをコピーした時、ネットワーク上を流れるデータの量がファイルサイズより大きい。

### 説明

FTP や WWW を使用してファイルをダウンロードする場合は、（正確さを欠く表現になりますが）ファイルがストレートにサーバ側からクライアント側へコピーされます。GG のクライアントドライブ機能を利用してファイルをダウンロードする場合は、Windows API の内部処理に従ってコピーされますので、ファイルが定められたサイズに分割され、それに管理情報等も付加されクライアントへ送信されます。さらに大きなファイルでは、コピーのアニメーションを表示する API もクライアントへ送信されます。このような処理が行われるため、実際のファイルサイズより大きいデータ量がネットワーク上を流れます。なお、ネットワーク機材のデータ圧縮機能等も、このような仕組みにより十分に働かない場合があります。

Last reviewed: Aug 11, 2011

Status: DRAFT

Ref: NONE

Copyright © 2011 kitASP Corporation